

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2022年12月28日〔当初、2029年3月16日〕まで (2019年3月1日設定)	
運用方針	フランス国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてフランスの国債に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。	
主要運用対象	ベビーフンド	フランス国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	フランスの国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

〔繰上償還〕
フランス国債7-10年ラダーファンド
（為替ヘッジあり）
（ラップ向け）



信託終了日：2022年12月28日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「フランス国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）」は、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、12月28日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先	
お客さま専用 フリーダイヤル	0120-151034 (受付時間：営業日の9:00～17:00、 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。	

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率			
	円 銭		円	%	%	%	百万円
4 期 (2021年 3 月 17 日)	10,562		0	△ 1.0	97.8	—	10
5 期 (2021年 9 月 17 日)	10,550		0	△ 0.1	96.4	—	5
6 期 (2022年 3 月 17 日)	9,943		0	△ 5.8	99.6	—	6
7 期 (2022年 9 月 20 日)	8,912		0	△ 10.4	99.1	—	1
(償還時)	(償還価額)						
8 期 (2022年 12 月 28 日)	8,942.93		—	0.3	—	—	0.859071

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円 銭		%	%	%
2022年 9 月 20 日	8,912	—	—	99.1	—
9 月 末	8,603	△ 3.5	97.9	—	—
10 月 末	8,749	△ 1.8	98.1	—	—
11 月 末	8,852	△ 0.7	95.2	—	—
(償還時)	(償還価額)				
2022年 12 月 28 日	8,942.93	0.3	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

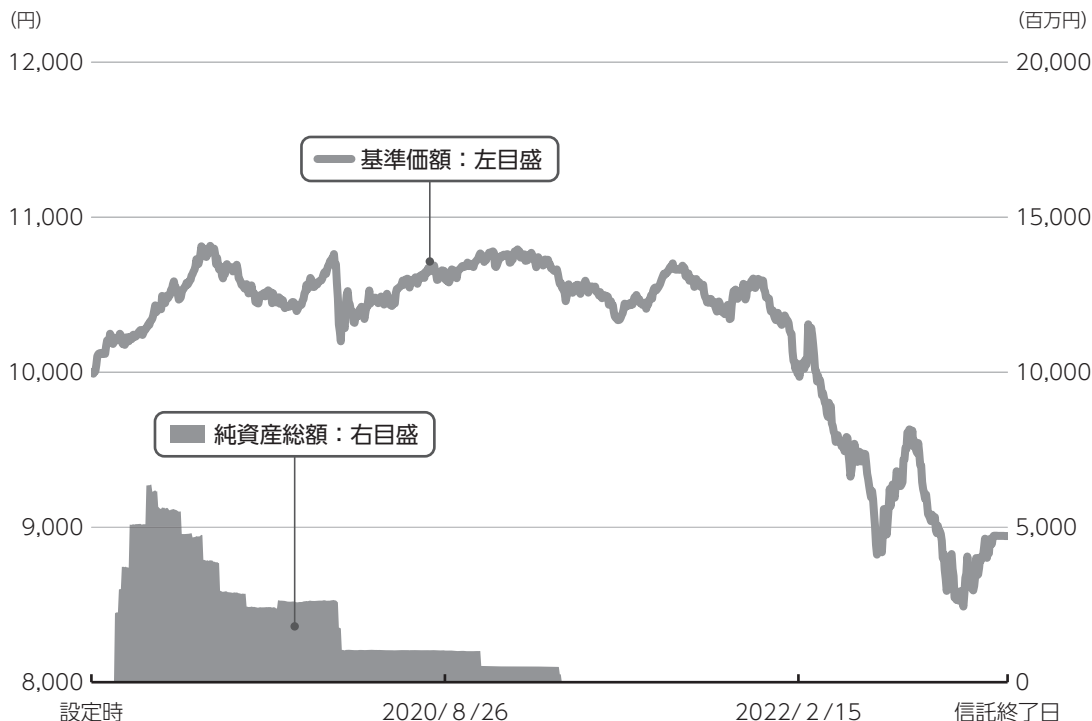
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第1期～第8期：2019年3月1日～2022年12月28日

設定来の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第8期末	8,942.93円
既払分配金	0円
騰落率	-10.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ10.6%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

フランス長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第1期～第8期：2019年3月1日～2022年12月28日

投資環境について

▶ 欧州債券市況

フランス長期金利は上昇しました。

設定時から2021年末にかけては、欧州の景気減速や新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、欧州中央銀行（ECB）が積極的な流動性供給や金融緩和を行ったことなどにより、フランス長期金利は概

ね低水準で推移しました。その後、信託期間終了日にかけては、ユーロ圏を含む主要先進国の景気回復やインフレ上昇を背景としたECBの金融緩和解除などから、フランス長期金利は上昇しました。信託期間を通じてみると、フランス長期金利は上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ フランス国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）

信託期間を通じて、フランス国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券を通じてフランス国債に投資しました。

第8期（2022年9月21日～信託終了日）は、信託終了日にかけてマザーファンドの組入れを解消し、資金化をはかりました。

▶ フランス国債7-10年ラダーマザーファンド

残存期間が7年程度から10年程度までのフランス国債を主要投資対象とし、これらの債券の各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用を行いました。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

＞ 分配金について

信託期間中の収益の分配はありません。

＞ 償還価額

▶ フランス国債7－10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）

償還価額は、8,942円93銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

2022年9月21日～2022年12月28日

> 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	9	0.107	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(7)	(0.084)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.015)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.009)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	0	0.004	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.004)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	9	0.111	

期中の平均基準価額は、8,761円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

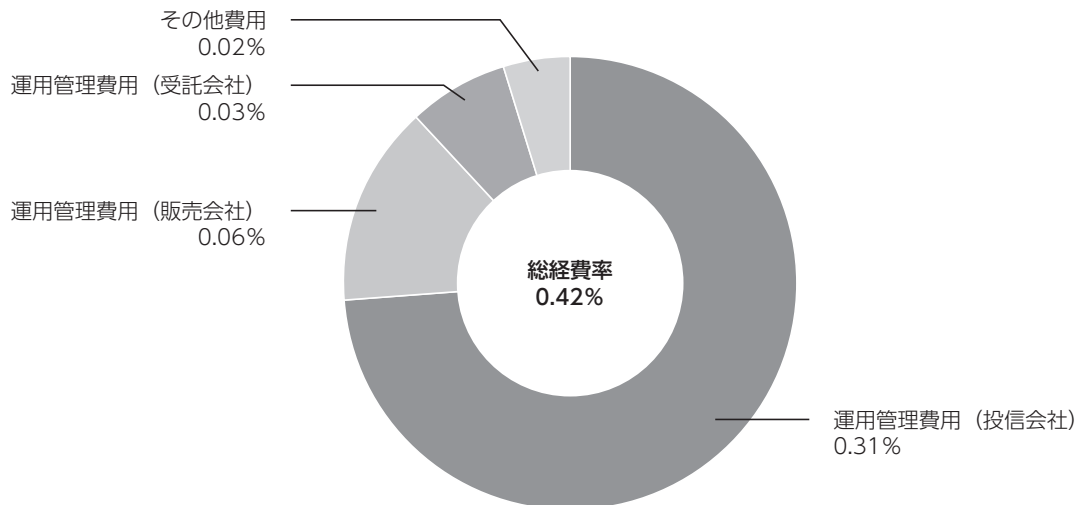
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.42%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2022年9月21日～2022年12月28日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
フランス国債7-10年ラダーマザーファンド	8	8	1,834	1,744

○利害関係人との取引状況等

（2022年9月21日～2022年12月28日）

利害関係人との取引状況

<フランス国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）>

該当事項はございません。

<フランス国債7-10年ラダーマザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 23,832	百万円 1,321	% 5.5	百万円 22,744	百万円 640	% 2.8

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2022年9月21日～2022年12月28日）

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高(元本)	取引の理由
百万円 0.960615	百万円 —	百万円 —	百万円 0.960615	商品性を適正に維持するための取得

○組入資産の明細

(2022年12月28日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
フランス国債7-10年ラダーマザーファンド			千口 1,825

○投資信託財産の構成

(2022年12月28日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 860	% 100.0
投資信託財産総額	860	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2022年12月28日現在）

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	860,404
コール・ローン等	860,404
(B) 負債	1,333
未払信託報酬	1,332
未払利息	1
(C) 純資産総額(A－B)	859,071
元本	960,615
償還差損金	△ 101,544
(D) 受益権総口数	960,615口
1万口当たり償還価額(C／D)	8,942円93銭

<注記事項>

- ①期首元本額 1,981,137円
期中追加設定元本額 0円
期中一部解約元本額 1,020,522円
また、1口当たり純資産額は、期末0.894293円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は101,544円です。

○損益の状況（2022年9月21日～2022年12月28日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 22
支払利息	△ 22
(B) 有価証券売買損益	4,347
売買益	32,617
売買損	△ 28,270
(C) 信託報酬等	△ 1,332
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	2,993
(E) 前期繰越損益金	△136,389
(F) 追加信託差損益金	31,852
(配当等相当額)	(18,413)
(売買損益相当額)	(13,439)
償還差損金(D＋E＋F)	△101,544

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2019年3月1日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年12月28日		資産総額	860,404円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	1,333円
				純資産総額	859,071円
受益権口数	1,000,000口	960,615口	△39,385口	受益権口数	960,615口
元本額	1,000,000円	960,615円	△39,385円	1万口当たり償還金	8,942円93銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	2,749,563,134円	2,920,332,416円	10,621円	0円	0%
第2期	1,710,340,999	1,762,857,952	10,307	0	0
第3期	945,943,938	1,009,090,154	10,668	0	0
第4期	9,571,446	10,109,046	10,562	0	0
第5期	5,536,578	5,840,916	10,550	0	0
第6期	6,655,329	6,617,511	9,943	0	0
第7期	1,981,137	1,765,552	8,912	0	0

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	8,942円93銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お知らせ】

全残存口数に対して受益者からの解約請求があり、約款第47条第1項に規定する「やむを得ない事情が発生」した場合に該当するため、また、約款第47条第5項に規定する「真にやむを得ない事情が生じている場合」に該当するため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。

（2022年12月28日）

フランス国債7-10年ラダーマザーファンド

《第11期》決算日2022年9月20日

[計算期間：2022年3月18日～2022年9月20日]

「フランス国債7-10年ラダーマザーファンド」は、9月20日に第11期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行います。
主 要 運 用 対 象	フランスの国債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰	落 中 率					
	円		%		%		%	百万円
7期(2020年9月17日)	11,474		3.7		93.2		—	22,918
8期(2021年3月17日)	11,374		△ 0.9		98.0		—	20,751
9期(2021年9月17日)	11,384		0.1		96.6		—	25,310
10期(2022年3月17日)	10,744		△ 5.6		99.9		—	22,503
11期(2022年9月20日)	9,647		△10.2		99.3		—	21,444

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰	落 率				
(期 首)	円		%		%		%
2022年3月17日	10,744		—		99.9		—
3月末	10,495		△ 2.3		98.7		—
4月末	10,350		△ 3.7		94.8		—
5月末	10,179		△ 5.3		97.7		—
6月末	9,785		△ 8.9		98.0		—
7月末	10,400		△ 3.2		93.7		—
8月末	9,820		△ 8.6		96.9		—
(期 末)							
2022年9月20日	9,647		△10.2		99.3		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ10.2%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券利子収入を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

フランス長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎欧州債券市況

- ・フランス長期金利は上昇しました。
- ・エネルギー価格の高止まりなどを背景に、ユーロ圏内でインフレ加速が見られ、欧州中央銀行（ECB）が利上げを実施したことなどが、フランス長期金利上昇の要因となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・残存期間が7年程度から10年程度までのフランス国債を主要投資対象とし、これらの債券の各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用を行いました。
- ・組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

○今後の運用方針

- ・フランスの国債を主要投資対象とし、原則として、残存期間が7年程度から10年程度までのフランス国債に投資し、各残存期間ごとの投資金額が同程度になるような運用を目指します。また、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年3月18日～2022年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 1	% 0.011	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	1	0.011	
期中の平均基準価額は、10,118円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月18日～2022年9月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	フランス	国債証券	43,908	48,709

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月18日～2022年9月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 48,468	百万円 23,319	% 48.1	百万円 45,729	百万円 22,897	% 50.1
為替直物取引	2,261	—	—	2,718	137	5.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年9月20日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
フランス	168,430	148,122	21,295,531	99.3	—	99.3	—	—
合 計	168,430	148,122	21,295,531	99.3	—	99.3	—	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
フランス	国債証券	0 O. A. T 291125	—	28,620	24,718	3,553,794	2029/11/25
		0 O. A. T 301125	—	29,310	24,693	3,550,163	2030/11/25
		0 O. A. T 311125	—	30,200	24,767	3,560,832	2031/11/25
		0 O. A. T 320525	—	30,740	24,768	3,560,937	2032/ 5 /25
		1.5 O. A. T 310525	1.5	25,790	24,604	3,537,409	2031/ 5 /25
		2.5 O. A. T 300525	2.5	23,770	24,569	3,532,395	2030/ 5 /25
合 計						21,295,531	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年9月20日現在)

項 目	当 期		末
	評 価 額	比 率	
公社債	千円	%	
	21,295,531	95.4	
コール・ローン等、その他	1,026,503	4.6	
投資信託財産総額	22,322,034	100.0	

(注) 期末における外貨建純資産(21,811,076千円)の投資信託財産総額(22,322,034千円)に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1ユーロ=143.77円			
--------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	43,250,173,996
コール・ローン等	979,439,203
公社債(評価額)	21,295,531,999
未収入金	20,929,602,893
未収利息	42,690,626
前払費用	2,909,275
(B) 負債	21,805,425,954
未払金	21,728,299,429
未払解約金	77,125,622
未払利息	903
(C) 純資産総額(A-B)	21,444,748,042
元本	22,229,838,595
次期繰越損益金	△ 785,090,553
(D) 受益権総口数	22,229,838,595口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,647円

<注記事項>

- ①期首元本額 20,944,355,337円
 期中追加設定元本額 2,492,142,377円
 期中一部解約元本額 1,206,659,119円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9647円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

MUKAM フランス国債7-10年ラダーオープン(為替ヘッジあり)(適格機関投資家転売制限付)	7,708,109,047円
MUKAM フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)2019-01(適格機関投資家限定)	3,754,055,071円
MUKAM フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)2018-07(適格機関投資家限定)	3,667,774,783円
MUKAM フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)2018-11(適格機関投資家限定)	2,752,311,334円
MUKAM フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)2018-06(適格機関投資家限定)	1,928,929,821円
国内債券セレクション(ラップ向け)	1,028,154,067円
MUKAM フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)2019-05(適格機関投資家限定)	891,522,201円
MUKAM フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)2018-10(適格機関投資家限定)	462,521,696円
アドバンスト・バランスⅡ(FOFs用)(適格機関投資家限定)	19,455,963円
アドバンスト・バランスⅠ(FOFs用)(適格機関投資家限定)	15,178,964円
フランス国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)(ラップ向け)	1,825,648円
合計	22,229,838,595円

③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は785,090,553円です。

○損益の状況 (2022年3月18日～2022年9月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	73,599,929
受取利息	74,326,174
支払利息	△ 726,245
(B) 有価証券売買損益	△2,461,210,842
売買益	3,286,237,471
売買損	△5,747,448,313
(C) 保管費用等	△ 2,375,151
(D) 当期損益金(A+B+C)	△2,389,986,064
(E) 前期繰越損益金	1,558,687,672
(F) 追加信託差損益金	21,134,634
(G) 解約差損益金	25,073,205
(H) 計(D+E+F+G)	△ 785,090,553
次期繰越損益金(H)	△ 785,090,553

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。